



第1章 飛騨高山匠の技遺産



Contents 1 両面宿儺



Digital archive
詳しい情報はこちら

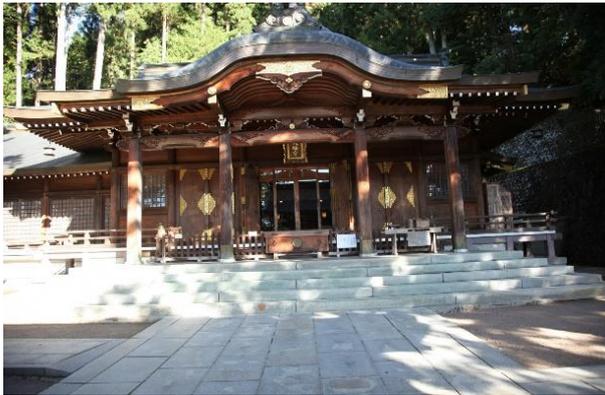


両面宿儺は高山市丹生川町が出生の地と伝わり、丹生川町の千光寺や出羽が平（現在の飛騨大鍾乳洞近辺）、日面の善久寺、武儀の日龍峰寺などに伝承がある。

Directions
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市丹生川町下保 1553
交通／高山駅から車で約 24 分

Contents 2 桜山八幡宮



Digital archive
詳しい情報はこちら



祭神は、応神(おうじん)天皇・熱田(あつたの)大神、香椎(かしいの)大神である。飛騨の両面宿儺を攻めた難波根子武振熊命は、飛騨への侵攻にあたって道沿いに八幡社を祀って戦勝祈願をした。

Directions
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市桜町 178
交通／高山駅から車で 7 分

Contents 3 月ヶ瀬 飛騨の匠碑



Digital archive
詳しい情報はこちら



飛騨市河合町には、止利仏師の生誕地としての伝承が長い年月にわたって伝えられてきた。それを実証する確かな史料は残っていないが口伝えにより、河合町の月ヶ瀬には飛騨匠の碑が建っている。

Directions
場所と行き方

場所／飛騨市河合町月ヶ瀬
交通／高山駅から車で54分

Contents 4 飛鳥大仏



Digital archive
詳しい情報はこちら



重要文化財1940年指定、名称「銅造釈迦如来坐像（本堂安置）1軀」、像高は275.2cm『日本書紀』や『元興寺縁起』に見える「鞍作鳥（止利仏師）」作の本尊像で、後世の補修がある。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村飛鳥682
交通／橿原神宮寺前駅から車で約10分

Contents 5 法隆寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



607年、聖徳太子こと厩戸皇子（用明天皇の皇子）が父・用明天皇のために創建した。聖徳太子は推古9年（601年）、「斑鳩宮」の建造に着手、推古13年（605年）に斑鳩宮に移り住んだ。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内 1-1
交通／王寺駅から車で約 15 分

Contents 6 寿楽寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



寿楽寺跡地は道路改良に伴い、岐阜県教育文化財団が平成10～12・15年度の4次にわたり発掘。結果、講堂基壇跡と回廊遺構が発見された。礎石建物跡、竪穴建物群も確認している。

Directions
場所と行き方

場所／飛騨千光寺：高山市古川町太江 2872
交通／高山駅から車で約 30 分

Contents 7 飛驒町



Digital archive
詳しい情報はこちら

昭和 31 年の橿原市発足により飛驒町となった。上飛驒町の区域は、東西約 450m、南北約 560m である。飛驒町は上飛驒町の西側に隣接、東西約 260m、南北約 460m である。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県橿原市飛驒町

交通／橿原神宮前駅から車で約 7 分

Contents 8 平城京



Digital archive
詳しい情報はこちら

平城京は朱雀大路をはさんで西側を右京、東側を左京という。条坊地割りによって区画された。朱雀大路の南端には羅城門、北端には朱雀門があり、朱雀門より中は 1 km 四方の平城宮となる。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市二条大路 3 丁目 3-30

交通／奈良駅から車で約 17 分

Contents 9 唐招提寺 講堂



Digital archive
詳しい情報はこちら

この講堂は、平城宮の東朝集殿（儀式に出席する臣下の控え室）であったものを平城宮改修の際に下賜され、天平宝字4年（760年）頃に唐招提寺へ移築したものである。平城宮の唯一現存する宮廷建築として貴重である。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市五条町 13-46

交通／尼ヶ辻駅から車で6分

Contents 10 朱雀門



Digital archive
詳しい情報はこちら

朱雀門の左右には高さ6mの築地塀がめぐり、約1km四方の広さ、130haの広さの宮城をもつ平城宮を取り囲んでいた。柱と柱の間の中心間距離がいずれも17尺（約5m）で正面5間（約25m）の規模をもつ。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市二条大路南3丁目 3-30

交通／奈良駅から車で約17分

Contents 11 大極殿



Digital archive
詳しい情報はこちら



明德元年(1390)に創建され、元中7年(1390)に再建されている。三間社流造り、柿葺で、素木造り。本殿と棟札7枚が国の文化財に指定されている。本殿は、明德元年(1390)再建されたと伝えられている。

Directions
場所と行き方

場所／高山市国府町宮地1405-1
交通／高山駅から車で約26分

Contents 12 西隆寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



西隆寺は、奈良時代に平城京に造営された尼寺。称徳天皇の発願によって神護景雲元年(766年)に造寺司(造西隆寺司)が設置され、西大寺そばの右京一条二坊の地4町に建立された。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市西大寺東町2丁目1
交通／大和西大寺駅から車で約3分

Contents 13 西大寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



西大寺は、奈良時代天平神護元年（765）に創建された。官大寺を総称する「南都七大寺」の1つに数えられ、2015年に創建1250年を迎えた。承和13年（846）以後数多の火災にあい、創建当時の建物はほとんど焼失した。

Directions
場所と行き方

場所／〒631-0825 奈良県奈良市西大寺芝町
交通／大和西大寺駅から車で約3分

Contents 14 飛騨国分寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



現在の国分寺境内地は奈良時代の国分寺があった場所で、現境内地は東西70、南北92㍍、民地が入り組んでいて創建当時の寺域より、かなり狭まっています。室町時代の国分寺本堂が建っている。

Directions
場所と行き方

場所／高山市総和町1丁目94
交通／高山駅から車で約3分

Contents 15 飛騨国分尼寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



奈良時代から 10 世紀後半頃まで飛騨国分尼寺が建てられていた場所。昭和 63 年、辻ヶ森三社の社殿改築を機に発掘調査が実施され、飛騨国分尼寺金堂跡が発見された。

Directions
場所と行き方

場所／国分尼寺史跡広場：高山市岡本町2丁目130
交通／高山駅から車で約5分

Contents 16 飛騨支路



Digital archive
詳しい情報はこちら



東山道は東へ進んでゆくが、美濃の方県付近で本道と分かれて「飛騨支路」となり、関～金山～下呂と北へ進んで現在の高山市へと続いた。飛騨匠もこの道を通っていた。上京 15 日程、帰りは 8 日程であった。

Directions
場所と行き方

場所／高山市一之宮町
交通／高山駅から車で約27分

Contents 17 飛騨一宮水無神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

飛騨一円を崇敬者とし、除夜祭・歳旦祭は県内外からの参拝者が多い。例祭は5月2日。創立年代は不詳、祭神は水無大神など、位山を「神体山」としている。



Directions
場所と行き方

場所／高山市一之宮町 5323

交通／高山一ノ宮駅から車で約5分

Contents 18 阿多由太神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

技法が極めて優れた建物である。延喜式や三代実録に記載された古い社で、木曾垣内・三日町・半田の一部の産土神として、江戸時代にはこの地方の総社として広く崇敬されてきた



Directions
場所と行き方

場所／高山市国府町木曾垣内 1023

交通／飛騨国府駅から車で6分

Contents 19 小萱の薬師堂



Digital archive
詳しい情報はこちら

中世北飛騨の領主江馬氏の菩提寺だった瑞岸寺の飛び地仏堂。古くから養蚕の守り本尊として広く信仰され、寝雑薬師と呼ばれる奇祭が毎年行なわれ、多くの信者が参拝に訪れていた。



Directions
場所と行き方

場所／瑞岸寺安楽院薬師堂：飛騨市神岡町小萱 151
交通／高山駅から車で約 51 分

Contents 20 荒城神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

明徳元年（1390）に創建され、元中 7 年（1390）に再建されている。三間社流造り、柿葺で、素木造り。本殿と棟札 7 枚が国の文化財に指定されている。本殿は、明徳元年（1390）再建されたと伝えられている。



Directions
場所と行き方

場所／高山市国府町宮地 1405-1
交通／高山駅から車で約 26 分

Contents 21 安国寺経蔵



Digital archive
詳しい情報はこちら



飛騨地方で唯一の国宝建築。経蔵の建立は、天井裏にある輪蔵心柱の上端を受ける横木の墨書により応永15年と判明していて、内部の八角輪蔵に寺像が中国に渡航して請来した元版大蔵経（一切経）が納められている。

Directions
場所と行き方

場所／太平山安国寺：高山市国府町西門前474
交通／高山駅から車で約27分

Contents 22 熊野神社



Digital archive
詳しい情報はこちら



一間社流れ見世棚造で柿葺（こけらぶき）、桁行1.827m、梁間1.073m、昭和54年、重要文化財に指定されている。飛騨地方の神社建築の流れを知る上にも重要である。

Directions
場所と行き方

場所／高山市国府町西門前521
交通／高山駅から車で約27分

Contents 23 飛騨匠神社



Digital archive
詳しい情報はこちら



現在の建物は高山建築組合により、新社殿として昭和36年に新築されている。当初は飛騨国分寺境内に歴代口匠諸霊を併せて祭祀と供養がなされていて、この堂宇を「木鶴堂」と呼び「木鶴大明神」を祀っていた。

Directions
場所と行き方

場所／飛騨護国神社：高山市堀端町90

交通／高山から車で7分

Contents 24 千鳥格子御堂



Digital archive
詳しい情報はこちら



この格子戸は檜の角棒を互い違いに組んでいるが、どこでどのように組み合わせたものか、外見では全くわからない立派な細工で、千鳥格子と呼ばれてきた。

Directions
場所と行き方

場所／高山市荘川町六郎

交通／高山駅から車で約59分

Contents 25 高山陣屋



Digital archive
詳しい情報はこちら



明治維新に至るまでの177年、領地の行政・財政・警察などの政務を行なう「御役所」が「高山陣屋」と称された。明治になると、主要建物はそのまま地方官庁として使用され、昭和4年には国の史跡に指定された。

Directions
場所と行き方

場所／高山市八軒町1丁目5
交通／高山駅から車で約4分

Contents 26 春の高山祭 山王祭



Digital archive
詳しい情報はこちら



日枝神社（高山市城山）を中心に祭礼が毎年4月14、15日に執行される。今から約400年前に始まった。春祭には、能を外題(げだい)とした三つの「カラクリ」が奉納される。

Directions
場所と行き方

場所／高山市城山、日枝神社氏子区域
交通／高山駅から車で約7分

Contents 27 秋の高山祭 八幡祭



Digital archive
詳しい情報はこちら



桜山八幡宮を中心に祭礼が毎年10月9、10日に執行される。およそ400年前から始まった。江戸時代、例祭には金森国主より奉行正副2名が特派され、奉行祭の祭式は、飛騨が幕府の直轄となってからも続けられている。

Directions
場所と行き方

場所／高山市桜町、桜山八幡宮氏子区域
交通／高山駅から車で約7分

Contents 28 飛騨春慶塗



Digital archive
詳しい情報はこちら



木地は板物と、轆轤による挽物に分けられるが、飛騨春慶塗は板物の加工技術に特徴が見られ、「角物」と「曲物」がある。木肌の美しさを醸し出す木地師と、木肌の美しさを引き出す塗師の二者一体の共同芸術で成り立っている。

Directions
場所と行き方

場所／高山市内
交通／高山駅から車で約3分

Contents 29 一位一刀彫



Digital archive
詳しい情報はこちら

江黒亮春は刀法を考え、彩色を施さずに飛騨の名木一位の天然の美しさを生かした簡潔な彫痕を残す一刀彫の様式を考案したとされている。



Directions
場所と行き方

場所／高山市内
交通／高山駅から車で約3分

Contents 30 高山市三町伝統的建造物群保存地区



Digital archive
詳しい情報はこちら

平成9年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。地区の面積は約4.4haで、南北通りは約420m、東西の幅は約150m。伝統的な建造物が172棟あり、秋葉様社が2棟ある。



Directions
場所と行き方

場所／高山市上一之町、上二之町、上三之町他
交通／高山駅から車で約8分

Contents 31 高山市下二之町・大新町伝統的建造物群保存地区



Digital archive
詳しい情報はこちら



平成 16 年 7 月 6 日、約 6.6ha が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。伝統的建造物 200 棟、その他の工作物 12 件、環境物件が 8 件ある。

Directions
場所と行き方

場所／高山市下一之町、下二之町、下三之町
交通／高山駅から車で 7 分

Contents 32 吉島家・日下部家住宅



Digital archive
詳しい情報はこちら

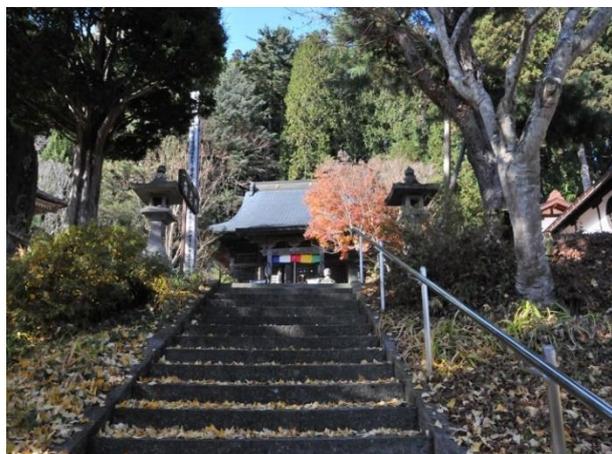


吉島家：主屋、倉は明治 40 年（1907）に建てられ、国の文化財に指定された。日下部家：昭和 41 年、主屋、文庫倉、新倉の 3 棟が国指定の重要文化財になった。

Directions
場所と行き方

場所／吉島家：高山市大新町 1 丁目 51
日下部民藝館：高山市大新町 1 丁目 52
交通／高山駅から車で約 24 分

Contents 33 千光寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

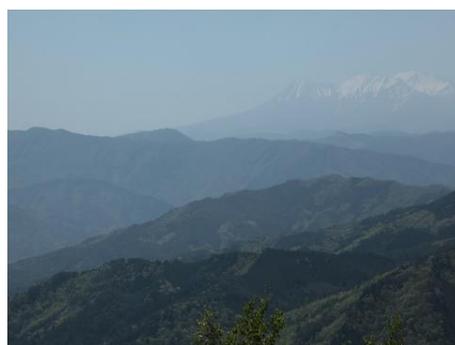
袈裟山千光寺は、平安時代に、弘法大師の高弟真如親王によって、真言密教の道場として建立され、隆盛期には7堂伽藍19の院坊があったと伝えられている。



Directions
場所と行き方

場所／高山市丹生川町下保 1553
交通／高山駅から車で約24分

Contents 34 位山



Digital archive
詳しい情報はこちら

位山（くらいやま）は、飛騨高地の中央に位置する山。飛騨一宮水無神社の神体である。日本二百名山のひとつであり、山域は岐阜県の「位山舟山県立自然公園」に指定されている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町段
交通／高山駅から車で約45分

Contents 35 飛騨一宮水無神社例祭



Digital archive
詳しい情報はこちら

例祭は5月2日に行われている。氏子の男子が代々受け継ぎ、堅く守られてきた。現在は、飛騨一宮水無神社特殊神事として岐阜県指定無形文化財となっている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町 5323
交通／高山駅から車で約 15 分

Contents 36 宮川



Digital archive
詳しい情報はこちら

飛騨の宮川は、日本全国の十数流もある宮川と称する河川の中でも、最も大河と言われている。宮川は、飛騨市北端の富山県境で高原川と合流し、神通川となって、富山湾(日本海)へ流れる。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町宮川
交通／高山駅から車で約 31 分

Contents 37 西隆寺塔跡



Digital archive
詳しい情報はこちら

西隆寺(さいりゅうじ)は、奈良時代に平城京に造営された尼寺。称徳天皇の発願によって神護景雲元年(766年)に造寺司(造西隆寺司)が設置され、西大寺そばの右京一条二坊の地4町に建立された。



Directions
場所と行き方

場所/奈良県奈良市西大寺東町2丁目1
交通/大和西大寺駅から車で約3分

Contents 38 唐招提寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

唐招提寺は天平宝字3年(759)、唐の高僧鑑真大和上によって創建された。平城宮から移され、唐招提寺の講堂とするために大幅な改修が施されているが、平城宮の唯一現存する宮廷建築として非常に貴重である。



Directions
場所と行き方

場所/奈良県奈良市五条町13-46
交通/JR奈良駅から車で約13分

Contents 39 森水無八幡神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

岐阜県下呂市にある八幡神社である。「森八幡神社」とも言う。
毎年2月に行われる田の神祭は、「田遊び」がその元となっているとされる豊作予祝祭であり、重要無形民俗文化財に指定されている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市森 1321
交通／下呂駅から車で約5分

Contents 40 位山八幡神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

創建年代は不詳。本殿は小社ながらも郡内における代表的な建築様式（流造入宝殿）である。境内には、県指定天然記念物の「夫婦杉」、「一位樹」がある。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県下呂市萩原町山之口 1272
交通／上呂駅から車で約12分



Contents 41 若宮八幡神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

若宮八幡神社は、仁徳天皇の御代、両面宿禰征討の命を奉じた武振熊命がこの地に今上の尊霊を奉祠して戦捷を祈願した斎場であったと言われている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市宮川町大無雁 327
交通／角川駅から車で約3分

Contents 42 東大寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

東大寺（とうだいじ）は、奈良県奈良市雑司町にある華嚴宗大本山の寺院である。1998年に古都奈良の文化財の一部として、ユネスコより世界遺産に登録されている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市雑司町 406-1
交通／近鉄奈良駅から車で約4分

Contents 43 生きびな祭り



Digital archive
詳しい情報はこちら



祭りでは、雅楽が奏でられる中、総勢100名余りが、表参道から境内まで約900mを40分ほどかけて練り歩く。祭典の最後には、1年の豊作を祈願して、生きびな様による餅投げが行われる。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市一之宮町 5323
交通／飛騨一ノ宮駅から車で約4分

Contents 44 飛騨民俗村・飛騨の里



Digital archive
詳しい情報はこちら



飛騨の里は、合掌造りをはじめとした飛騨の古い貴重な民家が移築復元されたなつかしい農山村の暮らしや昔から飛騨に伝わる季節の行事を再現している博物館。白川郷、五箇山の合掌造りを手軽に見ることができる。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市上岡本町 1-590
交通／高山駅から車で約10分

Contents 45 日枝神社



Digital archive
詳しい情報はこちら

永治元年（1141）、飛騨守時輔朝臣が近江の日吉大神を勧請して、城の鎮護としたのがはじまりである。昭和に県社となり、一般に『山王さま』と親しまれ、氏子数2700戸はじめ高山市民の尊崇を集めている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市城山 156
交通／高山駅から車で約7分

Contents 46 寿楽寺廃寺跡



Digital archive
詳しい情報はこちら

寿楽寺は岐阜県飛騨市古川町にある曹洞宗の寺院。本堂は1756年、観音堂は1879年、鐘楼は1984年のものである。寺宝として平安時代の大般若経を所蔵しており、岐阜県指定の文化財となっている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町太江 2872
交通／杉崎駅から車で約4分

Contents 47 杉崎廃寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



杉崎廃寺は宮川右岸の微高地上に位置し、これまでの発掘調査により、7世紀末葉に創建された白鳳時代の寺院跡であることが明らかになった。瓦は金堂と塔の一部に使われたが、屋根が檜皮葺であったことが特徴。

Directions
場所と行き方

場所／岐阜県飛騨市古川町杉崎
交通／杉崎駅から車で約3分

Contents 48 龍應山西明寺



Digital archive
詳しい情報はこちら



鎌倉時代の初期飛騨の匠が建立した純和様建築で釘を使用していない。屋根は桧皮葺きで、臺股（かえるまた）、格子模様等鎌倉の様式が保存されている。

Directions
場所と行き方

場所／滋賀県犬上郡甲良町池寺 26
交通／尼子駅から車で約12分

Contents 49 薬師寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

薬師寺は、奈良県奈良市西ノ京町に所在する寺院であり、興福寺とともに法相宗の大本山である。1998年（平成10年）に「古都奈良の文化財」の一部として、ユネスコより世界遺産に登録されている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市西ノ京町 457
交通／西ノ京駅から車で約6分

Contents 50 興福寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

興福寺は、奈良県奈良市登大路町にある、南都六宗の一つ、法相宗の大本山の寺院である。多くの仏教彫刻の名品を所蔵している。「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産に登録されている。



Directions
場所と行き方

場所／奈良県奈良市登大路町 48
交通／奈良駅から車で約8分

Contents 51 霊雲寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

江戸初期、照蓮寺十三代宣明の弟、祐覚が開基し御坊坂に堂を構えた。第二代祐意は、照蓮寺十六世琢情から金森公寄進の本尊を受けられ霊雲寺と号し、のち現在の地に移転した。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市神田町2丁目98
交通／高山駅から車で約5分

Contents 52 宗猷寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

宗猷寺は岐阜県高山市にある臨済宗妙心寺派の寺院で、山号は真龍山。高山市指定の文化財として、文政7年(1824年)建造の本堂と享保年間建立の鐘楼があるほか、史跡として山岡鉄舟父母の墓がある。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市宗猷寺町218
交通／高山駅から車で約8分

Contents 53 雲龍寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

1395年頃、曹洞宗雲龍寺として再建された。雲龍寺鐘楼門は、1695年、高山城破却に伴い、二之丸にあった「黄雲閣（こううんかく）」という建物を下げ渡され、これが鐘楼門になったと伝えられている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市若達町1丁目86
交通／高山駅から車で約6分

Contents 54 勝久寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

円通は長享元年（1487）片野に円通堂を建て、西本願寺派越中八尾の聞名寺の末寺であった。その後小八賀の葦屋へ移り、高山町三町へ移転し正徳二年（1712）」に寺号を勝久寺とし、昭和5年現在地に改築。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市大新町3丁目205
交通／高山駅から車で約8分

Contents 55 大雄寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

大雄寺鐘堂（県指定文化財・日本遺産）は、1689年2月に建てられた飛騨地方最古の鐘楼で、江戸時代前期より活躍する大工の家系、松田家 松田又兵衛（まつだまたべえ）作。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市愛宕町 67
交通／高山駅から車で約 6 分

Contents 56 常照寺



Digital archive
詳しい情報はこちら

鐘楼は明治 14 年（1881 年）に建立した。棟梁は高山の宮大工、特に彫刻が特技とされていた、山口権蔵（ごんぞう）である。この鐘楼には数多くの彫刻が施され豪華な建築となっている。



Directions
場所と行き方

場所／岐阜県高山市朝日町青屋 2502
交通／高山駅から車で約 35 分

Contents 57 石舞台古墳



Digital archive
詳しい情報はこちら



石舞台古墳は、横穴式石室を持つ方形墳で、築造は7世紀の初め頃と推定されている。被葬者は不明だが、6世紀後半にこの地で政権を握っていた蘇我馬子の墓ではないかといわれている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村島庄 254
交通／飛鳥駅から車で約8分

Contents 58 檜隈寺跡



Digital archive
詳しい情報はこちら



檜隈寺跡は、神社の境内にあり、塔・講堂・回廊跡と推定される建物跡を残し、礎石が遺存する。伽藍は西を正面とし、塔を中心に右に金堂、左に講堂があり、金堂・講堂は塔側を正面とする、特異な配置となっている。

Directions
場所と行き方

場所／奈良県高市郡明日香村檜前 577
交通／壺阪山駅から車で約5分